

## 善行表彰

### (株)武岡商店 = 静内吉野町

町は、8月11日に新ひだか町新型コロナウイルス感染症対策支え合い基金として200万円を寄付された(株)武岡商店(武岡大佑代表取締役)に11月18日善行表彰を贈りました。

武岡社長は「静内で生まれ、静内で育ったことで町のために役立ちたいと考えています。新型コロナの感染が拡大する中、感染予防に心掛けてほしい」と話しました。

大野町長は「大変ありがとうございます。子どもたちへの3つの応援事業を展開しています。共に助け合い、手を差し伸べていきたい」と述べました。



### (有)五十嵐産業 = 札幌市

町は、3月23日に二十間道路桜並木樹勢回復事業として300万円を寄付された(有)五十嵐産業(五十嵐豊和代表取締役社長)に11月16日善行表彰を贈りました。

## 経済産業大臣表彰 (統計調査功績者)

### 土井 修 さん(80) = 静内春立

土井修さんが経済産業大臣表彰(統計調査功績者)を受賞し、12月2日に大野町長から表彰状を伝達しました。

土井さんは、平成11年から工業統計調査員として従事され、令和元年までの18回にわたり、事業所を訪問して調査への協力依頼や調査票の記載事項の審査を行うなど、調査の円滑な推進に尽力されました。

土井さんは「お金に関わる調査のため抵抗のある方もおられましたが、信頼関係を築いたうえで調査に協力していただき、これまで続けられることができました。今後も元気づけたいです」と話しました。



## 北海道社会貢献賞 (統計功労者)

### 齋藤 滋一 さん(67) = 静内緑町

齋藤滋一さんが北海道社会貢献賞(統計功労者)を受賞し、11月13日に北村日高振興局長から表彰状が伝達されました。

齋藤さんは、昭和55年から令和2年までの30年にわたり、工業統計調査をはじめ、国勢調査などの各種調査に調査員として従事され、世帯や事業所を訪問して調査への協力依頼を行うなど、調査の円滑な推進に努められました。

齋藤さんは「賞をいただいたのは素直にうれしいです。これからも元気に歩けるうちは続けていきたい」と話しました。



**新**春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から、皆さまにおかれましては町政執行に對しまして、深いご理解と格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、最前線で住民の健康に貢献をいただいております医療従事者や介護従事者の皆さまに心より敬意を表します。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めが掛からず、地域経済や社会活動に大きな影響が生じるとともに、「新たな生活様式」を取り入れた社会活動を余儀なくされ、誰もが予想しえなかつた緊急事態の中、これまで本町が社会活動を続けることができましたのは、町民の皆さま一人ひとりに「コロナウイルスに負けない」という強い意志があったからこそであり、また、コロナ禍においてご苦労されているにも関わらず、町をみんなでお支え合い、助け合う気持ち



新ひだか町長  
大野克之

を醸成する本町の取り組みに對し、多くのお気持ちをいただきましたことに心より感謝申し上げます。皆さまのお気持ちを大切に、できることから一つずつ形にしていきたいと考えております。

JR日高線の廃線が決まり、利便性の高い、新たな交通体系づくりが今後の大きな課題となります。一方で静内農業高校が生産したサラブレッドがサマーセールにおいて高く評価され、町のイメージアップや地域活力の向上につながる、明るい出来事もありました。

今後も町民の皆さまと克服すべき課題や目標を共有し、明るい未来に向け、さまざまに事に挑戦していきたいと考えています。この新しい年が希望に満ちた年となることを心から祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。

**新**年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、令和3年の輝かしい新年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、中国の武漢市が発症地と言われる新型コロナウイルス感染症により世界中に感染が広まり、現在も感染者数が増加し、多くの人の生命・健康への脅威と経済的影響が生じています。

このような中で、国からの交付金を財源として、①プレミアム付き商品券事業、②農林・水産業、商業等への支援事業、③感染対策支援事業などに取り組みました。

議会といたしましても、町と協議し、今年度も財政の制限はありますが、可能な限りの支援に取り組みたいと考えています。

議会改革の昨年の取り組みの主なものは次のとおりです。



新ひだか町議会議長  
福嶋尚人

① 決算審査の進め方(議長および議選監査委員を除く全議員による審査)

② 政策提言

③ 議会白書の発行

本年、予定している取り組みは次のとおりです。

① 2月に昨年同様、議会報告会の開催(静内地区・ピユアプラザ、三石地区・総合市民センター)

② 委員会等オンライン会議システムの導入

なお、早稲田大学マニフェスト研究会の議会改革度ランキングで北海道の市町村10位にランクインしましたが、今後もより一層の議会改革を進めていく所存であります。

町財政も依然として非常に厳しい状況にありますが、議会といたしましても、町民の皆さまが安心して暮らせる新ひだか町となるよう町と協議をまいります。

結びになりますが、町民皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさついたします。